



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2427



コキア（ひたち海浜公園）

移動例会

第2427回 例会 令和4年12月6日

点 鐘 … 石毛 園子 会長
国 歌 … 君 が 代
ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

「円福寺お宝めぐり」

来訪ロータリアン紹介
… 親睦活動・家族委員会

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム（令和4年12月13日）

年次総会

会長挨拶 … 石毛 園子 会長

幹事報告 … 飯田 貴之 幹事

第6回定例理事会（例会終了後）

お食事「常鮨（にぎり）」



IMAGINE ROTARY

イマジン ロータリー

2022-2023 年度 RI 会長 ジェニファー E. ジョーンズ

第2426回例会(令和4年11月29日)

会長挨拶

石毛 園子

本日は、「決議23-24」についてお話しします。

決議23-24とは、1923年第14回国際大会において採択された、その後の国際大会で改正されてきました。これは、現在手続要覧の最初に「ロータリーの基本理念・社会奉仕に関する1923年の声明」として登場します。この決議が提案された背景には、アーサー・フレデリック・シェルドンを中心とした理念派（ロータリー創立の理念を守るべきとするもの）と1918年にオハイオ州エリリアRCに入会したエドガー・アレンを筆頭とした実践派（ロータリーは丸となって金銭的奉仕や身体障害児の保護・教育に貢献した事業を行っていかうとするもの）が対立を深めていったことがあります。議論の中心となったことは、多額の金銭的支出を伴うクラブによる団体奉仕をロータリーの奉仕として認めるか否かでしたが、個人奉仕か団体奉仕か、さらには金銭的奉仕の是非にまで議論が広がってしまいました。国際ロータリー理事会は、これを収拾し両派の考え方を調和させる努力を繰り返し最終的には1923年セントルイス国際大会で、テネシー州ナッシュビルRCのウィル R. メニア Jr を中心とした委員会が起草・提案した『決議23-24』の採択によって、論争の終止符が打たれ、両派の対立は解消されました。

そして、1992年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択しました。その冒頭の文章をご紹介します。

「ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することを推奨、育成することである。」

この奉仕の理念の適用を実行することについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられる。

「社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが『超我的奉仕』を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会責務でもある。」

と書かれており、以下に10項目の勸奨事項が列挙されています。

幹事報告

- 1・R I 日本事務局より
第2回クラブ・地区支援室メッセージ 受領
- 2・ガバナー事務所より
・「コーディネーターニュース」2022年12月号
・MCR レポート10月分送付
・2023-24年度補助金管理セミナー開催のご案内
・財団室NEWS 2022年12月号 受領
- 3・銚子市交通安全都市推進協議会より
令和4年冬の交通安全・防犯合同出動式及び特別警戒パトロール等の参加について（依頼） 受領
- 4・例会変更のお知らせ
旭RCより
12/2(金) ガバナー公式訪問（八日市場RCと合同）
「旭商工会3階」
12/23(金) 点鐘18:30 夜間例会
12/30(金) 休会 細則第5条第6節(1)により 受領

卓 話

「国際交流」

武内英語スクール 武内 達彦 氏

皆さん、こんにちは。武内英語スクールの武内達彦と申します。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

はじめに、私の日頃より関わっております活動をご紹介します。



<ボランティア活動>

- ・NPO 法人 BeCOM COM CUP（英語日本語スピーチ大会）事業 2002年～
- ・銚子市国際交流協会理事（BeCOMからの出向）（2017年～）

<本業>

- ・武内英語スクール（代表・塾長）（平成14年・2002年～）
小学1～高校生
- ・千葉科学大学英語講師（英語・実用英会話）（開学時～）
18～20代（50代）
- ・妙福寺学園 認定こども園 銚子幼稚園（平成14年～）
3歳～6歳

26歳で帰国し、父の英語スクールを継いで今年20年目になります。

以前は、アメリカ・ワシントン州シアトル（マイクロソフト本拠地、ジャンボジェット機のボーイング社、スターバックスやタリーズコーヒーマーケットなど）にて、International Business Professions Program 一年間のアメリカ企業ビジネス研修プログラムに参加、その後、Ames International Inc. という、チョコレートとナッツ製品を主力とする現地企業にて就職、日本・アジア市場担当を行いました。

地域の教育環境・子育て環境—供の視点と大人の視点

この20年間は民間の英語教育に携わり、日本と海外との違いや異文化に多く触れ、コミュニケーションを重ねる素晴らしさ、そしてグローバルな視野と感覚を持つことの大切さを伝えて参りました。

また、現在は二人の娘を持つ親になり、見えてくる子育て環境や地域の課題も実感しています。

それは、YouTube や SNS など IT 中心の現代ライフスタイルの定着による、人との繋がり・コミュニケーションの欠如とその悪影響への不安です。

この3年間は特に、新型コロナウイルスの影響により、社会生活が激変。感染対策の観点から、マスク着用、ソーシャルディスタンス、食事の際はもちろん、極力会話は避けることが日常で求められ、私たち大人の社会活動のみならず、子供たちの学校生活、幼稚園・保育園生活でのコミュニケーション不足、素顔の見えない交流の現状は、とても深刻です。

そういった課題への解決に向けて、本日は、国際交流 と COM CUP をテーマに、多文化コミュニケーション機会のあり方をお話しいたします。

【私の最初の国際交流、Sarah Holmes について】

<感謝！>

私の人生最初の国際交流は、ロータリークラブ奨学生、Sarah Holmes さんでした。

「我が家は近々ホストファミリーをする、お前の部屋はセ

ーラの部屋になるぞ。」

当時中学1年の私は、その後3か月間、青い目のセーラ姉さんと、ニュージーランドの事や食生活、来日の理由や日本の好きなところ、母国との生活・文化の違いなど、毎日家族でたくさんおしゃべりしました。

お互いに教え合い、多くの事を共有しながら一緒に生活すると、不思議にもあつという間に本当のファミリーのようになり、今でもその想いと絆は変わりません。

コミュニケーションの小さな成功体験の積み重ねは、異言語の言葉の不安やぎこちなさを乗り越え、新たな価値の発見と共に自信を授けてくれます。

セーラ姉さんの影響を受けて、私自身も中学2年にオレゴン州ポートランドへ、大学2年にテキサス州のサンアントニオにて、ホームステイする機会を得ましたが、今日までの私の人生経験やアカデミックなキャリア、歩むべき方向へのヒントを与えてくださったロータリークラブ様の国際交流活動には、心からの感謝をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございます！

調べてみると、以前から銚子市では、様々な形での国際交流活動が行われてきました。

1. 銚子市とオレゴン州クースベイ市との姉妹都市交流
2. フィリピン合衆国アルバイ州レガスピー市との姉妹都市提携「日比友愛の碑」で知られる
(両市ロータリークラブ間で姉妹クラブ契約が締結され、交流が重ねられていくことに由来)
3. ポルトガル共和国シントラ市
(犬吠埼・ロカ岬記念碑：ロカ岬とほぼ同緯度にある犬吠埼を姉妹岬として友好親善を目的)
4. 銚子市国際交流協会設立2017年（平成29年）
(市民が地域文化の担い手であることを自覚し、様々な文化交流を進め、地域社会への寄与を目的、日本語教室、国際交流パーティー等の交流事業)
5. 桃園市との友好交流協定
(世界女子ソフトボール選手権大会における台湾チームの強化合宿をはじめ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における台湾のホストタウン登録、台湾野柳地質公園と銚子ジオパークとの観光交流・学術交流に関する協定締結)

【国際交流パーティー】

2017年に設立された銚子市国際交流協会では、日本語教室、国際交流パーティー等の交流事業が行われてきました。国際交流パーティーの模様、総勢250名以上の参加（日本人含む）

これだけ多国籍の外国人が銚子市に集まったのは初めてではないでしょうか。

【データ1 【データ2 【データ3

統計データによれば、現在、市内在住の2千人を超える外国人住民の数は、銚子市全人口の5%に近く、日本全体の平均人口約2%の2.5倍です。（中国29%、ベトナム21%、フィリピン16%、タイ16%）

さらに、銚子市の年齢別人口割合では、20代が20.7%、30代が11.4%という数値となっています。つまり、銚子市在住の20代は5000人中1035人、30代は5000人中570人の人たちが、日本の数ある地方都市の中で銚子市に暮らし、学生として、または技能実習生や労働力として、銚子市に貢献してくれていると考えられます。

【国際交流とは、】

他国の人と交流することでお互いの国についてよく知る

こと、またはそのための活動を指す言葉。

ときに「異文化交流」と呼ばれることもあります。社会のグローバル化が進むなかで、国レベルの関係者同士での外交だけでなく、一般市民が交流して、異文化に対する理解を深める必要性も高まってきました。日本が今後も世界に開かれた社会であり続けるために、国際交流はますます重要な取り組みになっていくでしょう。

国際交流の具体的な活動例：

姉妹都市交流・キャンプ誘致・多言語による生活情報発信・教育交流・交換留学・ワーキングホリデー・海外旅行 など

【多文化共生とは】

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」（総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より）を言います。日本人も外国人も、地域の一員として共に認め合い、互いに力を合わせながら、社会を発展させていこうという考え方です。

グローバル化が進展し、地球規模で人の移動が活発化している現在。日本全国で、外国人の人口が急速に増加しています。駅で、学校で、コンビニで、日常で外国人と触れ合うことは珍しいことではなくなりました。こうした中、日本人と外国人が、一緒になって地域社会を形づくっていくことが求められています。

外国人が地域の活動に参加することは、人と人のネットワークを拡張、地域社会の新しい活力を生み出します。日本人にとっては、地域の魅力を再発見する機会となるとともに、国際理解が深まるきっかけとなります。

多文化共生の意識を深めることは、日本人も外国人も、一人ひとりが気持ちよく暮らすことのできる、魅力あるまちづくりにつながります。

銚子市においても、中国、タイ、ベトナム、フィリピン、韓国などのアジアを中心に2000人を超える外国人が暮らしているほか、親戚家族や友人、外国人観光客が訪れるなど、外国人を見かけることは日常の光景となっており、地域に暮らす私たち日本人も外国人も生活者の一員として共に認め合い、言葉の壁、心の壁を取り除き、安心して暮らすことのできる多文化共生のまちづくりが必要です。

【多文化との出会い、COM CUPについて（今年で22年目）】

私たちが普段街中ですれ違う同じ地域に暮らす外国籍の皆さんが、なぜ日本の銚子市に移り住み、彼らがどんな夢や目標を持って毎日を送っているのか、皆さんは知る機会がありますか？

COM CUPでは、日本に暮らす外国にルーツを持つ皆さんのための日本語部門を併設することにより、彼ら一人一人の人生ストーリーを聞くことが出来ます。日本語学習者の活躍と応援の場として、また英語学習者の多文化理解と国際交流の場として22年間、これまで1000名を超える参加者がステージに上がり、自分の想いを発信しています。

伝えたい気持ちがある 伝える言葉がある

COM CUP (COMmunicator's Cup) は、コミュニケーション能力としての語学力育成と、異文化理解教育の場として、2001年銚子市ではじまった小さなスピーチ大会です。

与えられたテーマに対して自分なりの意見を持ち、日本語での表現にとどまらず、世界中の同世代と対話する力を育んでほしいという願いを込めてつくった大会は、地元で暮らす多くの皆様からのご理解とご協力をいただきながら

開催を重ねてまいりました。

銚子市の人口減少が加速する中、銚子市をはじめ、神栖市、旭市、匝瑳市、東庄町、香取市のそれぞれの教育委員会からご後援を頂き、教育の広域連携が広がっています。COM CUP には、多世代・多文化なスピーカーたちのリアルな声を聞くチャンスがあります。銚子を基軸としつつ、この近隣地域に暮らす子供たちから学生、成人の誰もが活躍できる場、国際交流の最初の表現の舞台を提供しています。

COM CUP を通じて (BeCOM) が目指す理念【地球のどこに生まれても、誰もが自分らしく生きる社会】の実現は、SDGs (持続可能な開発目標) の掲げる 4 番目のゴールにつながっています。

SDGs4 質の高い教育をみんなに！

世界中の人々が質の高い教育を受ける事は、就業率の向上、生産性の改善に加え、世界をより良いものにするために必要な研究の推進につながる！

住んでいる場所や家庭の経済状況に関わらず、誰もが無料で質の高い基礎教育や職業訓練を平等に受け、すべての世代の人が生涯にわたりさまざまな機会に学習できるようにするための目標。

これまで継続的に育まれてきた私たちの国際交流や様々なボランティア活動は、世界の目指す地球規模な課題解決の貢献に寄与しています。

改めて、COM CUP 大会への継続的なご協力への感謝と、大会を通じての国際交流・多文化理解にご興味・ご関心をお寄せいただき、是非ご来場頂けましたら大変光栄です。

本日は貴重なお時間をありがとうございました。

COM CUP 英語・日本語スピーチ大会

日 時：2022 年 12 月 18 日 (日) 12:50~17:30

場 所：銚子商工会議所 1 階大ホール

大会テーマ：「Departure~出発~」



BeCOM 武内達彦様へ助成金贈呈

——ニコニコ——

網中吉郎君

先週 22 日に第 7・8・9・10・12 グループの次年度ガバナー補佐の第 1 回チーム会議が東京赤坂で開催されました。寒郡ガバナーノミニー、大木次年度幹事長も参加し、大変有意義な意見交換会になりました。

冬の交通安全運動のお知らせ

防犯合同出動式及び特別警戒パトロール

日時：12 月 7 日 (水) 18:00~19:00

場所：市役所市民プラザ

*各会員 (団体) 2 名以内の参加

*雨天の場合、出動式は市民ホールにて実施、パトロールは中止

薄暮時街頭監視

日時：12 月 19 日 (月) 16:00~17:00

場所：馬場町交差点他 *雨天中止

12 月のロータリーレート 1\$ = 138 円

ロータリーの特別月間

12 月 疾病予防と治療月間

前回の例会 (11/29) 報告

点 鐘 石毛 園子 会長

出席報告

会員総数 28 名 出席規定除外数 3 名

出席者 14 名 出席率 53.85 %

11月8日 確定出席率 59.26 %

来訪ロータリアン なし

欠席者 12名

メイクアップ なし

網中君 (11/22第1回AGチーム会議)

スモールコイン BOX 小 計 ￥ 1,270-

累 計 ￥ 27,270-

ニコニコBOX 小 計 ￥ 3,000-

累 計 ￥ 90,000-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 石毛園子 副会長 森はるみ 幹事 飯田貴之

クラブ広報・会報委員会 黒田幸一・杉浦 武・石井哲也

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦 (古帳庵 古帳女) が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福 (円福) 寺に現存する。